

第75回近畿高等学校卓球選手権大会

実 施 要 項

主 催 近畿高等学校体育連盟
大阪府教育庁

後 援 NPO法人 大阪卓球協会

主 管 大阪高等学校体育連盟卓球専門部

1 期 日

- (1) 開会式 令和3年7月27日(火) 8:50～
- (2) 競 技 令和3年7月27日(火)～29日(木)
- (3) 閉会式 令和3年7月29日(木) 競技終了後

2 会 場

丸善インテックアリーナ大阪 〒552-0005 大阪市港区田中3-1-40
TEL:06-6576-0800

3 競技種目

- (1) 男子学校対抗(団体戦) (2) 男子ダブルス (3) 男子シングルス
- (4) 女子学校対抗(団体戦) (5) 女子ダブルス (6) 女子シングルス

4 競技日程

7月27日(火)	8時50分～	9時00分	開会式(男女ダブルス参加者のみ)
	9時00分～	12時30分	男女ダブルス3回戦まで
	13時30分～	16時30分	男女学校対抗1回戦
	16時30分～	19時20分	男女ダブルス決勝まで
7月28日(水)	9時00分～	19時00分	男女学校対抗決勝まで
7月29日(木)	9時00分～	16時20分	男女シングルス決勝まで
	16時30分～		閉会式

5 競技規定

- (1) 現行の日本卓球ルールと以下の規定を適用する。
- (2) 競技用ユニフォームは以下のとおりとする。
 - ・(公財)日本卓球協会公認マークのついたものとし、当該年度の(公財)日本卓球協会制定のゼッケンを背中に付けること。(2015年9月一部改定の白地ユニフォーム禁止規定採用)
 - ・学校対抗はチームで同じユニフォームを着用すること。
 - ・ダブルスの2人は同じユニフォームを着用すること。
 - ・各選手は明らかに異なった色のものを2着以上持参する。各種目、準々決勝以降は対戦相手と同色のユニフォームを避けること。
(同色のユニフォームの場合は、トスにより一方のチーム・選手がユニフォームを変更する。)
 - ・ベンチに入る監督は、卓球ユニフォーム着用が望ましい。
- (3) 監督は学校長が認める指導者とし、当該年度に(公財)日本卓球協会に役職者として登録された者であること。
 - ・監督が外部指導者の場合は、損害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入し、その証明書を添付した「外部指導者申請書」を大会参加申込の際に提出することを条件とする。
 - ・監督は当該年度の役職者章((公財)日本卓球協会発行の役職者章)をつけること。
- (4) 個人戦のアドバイザーについて
 - (ア) アドバイザーはひとつの試合について1名のみとする。
 - (イ) アドバイザーの資格は、大会申し込時にエントリーされた当該校の監督・選手に限る。
 - (ウ) アドバイザーは試合開始時に選手とともに入場する。試合途中でコートから離れたとしても、以後そのコートには復帰できない。ただし、当該校で複数の選手が同時に試合をしている場合、遅れて入ることができる。
- (5) ゲーム間のアドバイスは1分以内を厳守すること。
- (6) タイムアウト制については学校対抗(団体戦)、個人戦(シングルス、ダブルス)ともに準々決勝より採用する。(なお、準々決勝より大阪卓球協会公認審判員が審判にあたる)

- (7) 使用球は（公財）日本卓球協会公認球（40mmプラスチックホワイト）とする。
 今大会はヴィクタス・ニッタク・タマス（R球）の3社とする。
- (8) 使用する台は（公財）日本卓球協会公認のブルー台とする。

6 競技方法

- (1) 全種目11ポイント5ゲームズマッチのトーナメント方式とする。
- (2) 学校対抗（団体戦）の試合方法は、次の通りとする。

順 序	1	2	3	4	5
種 目	S	S	D	S	S

S：シングルス

D：ダブルス

ただし、シングルスとダブルスは重複して出場できるが1番・2番のシングルスに出場した者でダブルスを組むことはできない。

- (3) 選手登録は4名以上8名までとし、補欠は認めない。
- (4) 外国籍選手は2名まで登録することができる。オーダー編成には2名のうち1名のみ起用することができるが、出場は1回のみとする。ただし、試合の都度他の1名と交代してオーダー編成できる。
- (5) 勝敗は4～6名による4シングルス1ダブルス（上記）の5試合3点先取で決定する。
- (6) 学校対抗（団体戦）は2コートを同時使用する。
- (7) 審判について
- ・学校対抗は相互審判とする。ただし、準々決勝以降は公認審判員で行う。
 - ・個人戦については敗者審判とする。ただし、準々決勝以降は公認審判員で行う。
- （1回戦については、地元の高校生審判員がおこなう。）

7 参加資格

- (1) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校に在籍する生徒であること。
- (2) 選手は、各府県高等学校体育連盟に加盟している高等学校及び府県高等学校体育連盟が特に認めた学校の生徒で、当該競技要項により大会参加資格を得た者に限る。
- (3) 選手は、当該年度（公財）日本卓球協会に登録された者に限る。
- (4) 年齢制限について
- (ア) 選手は、平成14年(2002)4月2日以降に生まれた者（4月2日を起算として、19歳未満の者）とする。ただし、同一学年での出場は1回限りとする。
- (イ) 特例として、(ア)に定める年齢制限について、中国残留日本人孤児及びその子女については撤廃する。
- (5) チームを編成する場合は、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成チームは認めない。
- (6) 統廃合の対象になる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。
- (7) 転校後6ヶ月未満の者の参加は認めない。（外国人留学生もこれに準ずる）ただし、学校再配置による転入学生徒及び一家転住などのやむを得ない場合は、各府県高等学校体育連盟会長の許可があればこの限りではない。
- (8) 出場する生徒（選手）は、あらかじめ健康診断を受け、在籍する学校の校長の承認を必要とする。
- (9) 参加資格の特例
- (ア) 上記の(1)、(2)に定める生徒以外で、当該競技要項による大会参加資格を満たすと判断され、各府県高等学校体育連盟会長が推薦した生徒について、別途に定める規定に従い大会参加を認める。
- (イ) 上記(4)アのただし書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は同一競技3回限りとする。

【大会参加資格の別途に定める規定】

1. 学校教育法第72条、115条、124条及び134条の学校に在籍し、府県高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。
2. 以下の条件を具備すること。
 - (1) 大会参加資格を認める条件
 - (ア) 近畿高等学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
 - (イ) 参加を希望する専修学校及び各種学校にあつては、学齢、修業年限ともに高等学校と一致していること。
 - (ウ) 各学校にあつては、府県高等学校体育連盟の予選会から出場が認められ、本大会への上場条件が満たされていること。
 - (エ) 各学校にあつては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失していず運営が適切であること。
 - (2) 大会参加に際して守るべき条件
 - (ア) 近畿高等学校体育連盟種目別大会要項を遵守し、本大会申し合わせ事項等に従うとともに大会の円滑な運営に協力すること。
 - (イ) 大会参加に際しては、責任ある教員が引率するとともに、万一の事故の発生に備えて傷害保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。
 - (ウ) 大会参加に要する経費については、応分の負担をすること。

8 参加制限

- (1) 各種目の参加数は、各府県男女とも下記の通りとする。

学校対抗（団体戦）	8校	ダブルス	16組	シングルス	16名
-----------	----	------	-----	-------	-----

- ・ただし、同一校より個人種目への上場数は、シングルス8名・ダブルス4組以内とする。
- ・学校対抗の令和元年度近畿大会優勝校と令和2年度近畿新人大会優勝校は無条件に出場できる。
- ・シングルスは令和元年度近畿大会シングルスランキング保持者と令和2年度近畿新人大会シングルスランキング保持者は無条件で出場出来る。
- ・ダブルスは令和元年度近畿大会シングルスとダブルス、令和元年度近畿新人大会ダブルスおよび令和2年度近畿新人大会シングルのランキング保持者同士のペアは無条件で出場出来る。
(さらに、開催地は別に学校対抗1校・シングルス4名・ダブルス4組の上場を認める。)

- (2) 外国人留学生の参加について

(公財) 全国高等学校体育連盟卓球専門部規定

第1条 2. 大会運営規定 [5] 外国籍選手の上場参加制限による。

9 参加申込

- (1) 申込方法

- ・参加校の顧問は大阪高体連卓球専門部のホームページより参加申込みのファイルをダウンロードし各項目に入力の上、下記の2カ所のデータ送信先にデータを送信する。それとともに各府県高等学校体育連盟卓球部責任者に指定された期日までに申込書を印刷し、押印の上申し込むこと。
- ・各府県高体連卓球専門部委員長は、大阪高体連卓球専門部のホームページより出場校・参加選手一覧ファイルをダウンロードし各項目に入力の上、下記の開催地データ送信先にデータを送信する。それとともに、参加申込用紙と一覧表を印刷して下記申込先に送付すること。

(2) 申込先

※大阪高等学校体育連盟卓球専門部 ホームページアドレス <http://oktrtk.xsrv.jp>

・データ送信先…開催地と各府県担当者の2カ所に送信して下さい。

★開催地 E-mail muffs073@ybb.ne.jp 大阪高体連卓球専門部 増井 昌利 宛

★各府県別送信先 (各自の府県の担当者に送信して下さい)

兵庫	tos-nishimuraxa@kobe-c.ed.jp	兵庫県高体連卓球専門部	西村 敏明
京都	nakatani44@kyoto-tt.net	京都府高体連卓球専門部	中谷 勝彦
滋賀	inui.fumiaki@shiga-gakuen.net	滋賀県高体連卓球専門部	乾 文晃
奈良	minamio323@yahoo.co.jp	奈良県高体連卓球専門部	南岡 誠人
和歌山	nakamoto-t003@wakayama-c.ed.jp	和歌山県高体連卓球専門部	中本 拓

★郵送物送付先 〒594-0081 大阪府和泉市葛の葉町3-6-8
大阪府立信太高等学校 TEL 0725-23-3631 FAX 0725-22-8619
谷口 史子 宛

(3) 申込期日

令和3年6月24日(木) 必着

10 参加料

(1) 学校対抗 (団体戦)	1 チーム	20,000円
(2) ダブルス	1 組	2,000円
(3) シングルス	1 名	1,000円

*参加料の納入は、参加申し込みと同時に各府県責任者に納入し、各府県委員長が一括して、9の(2)に納入すること。

11 表彰

(1) 学校対抗 (団体戦)	第1位から第5位 (ベスト8) まで表彰する。
(2) 個人戦 (シングルス・ダブルス)	第1位から第5位 (ベスト8) まで表彰する。 第1位から第8位までランキング証を授与する。

12 宿泊及び弁当

(1) 申込み方法については、別紙申込用紙に記入の上、各校で期日までに指定業者に申し込むこと。
(2) 選手・監督の弁当については、指定業者が会場に届けます。

13 連絡事項

(1) 競技中の疾病・傷害などの応急処置は主催者側で行うが、その後の責任は負わない。
(2) 参加選手・監督・役員は必ず健康保険証を持参すること。
(3) 出場校の選手は必ず引率責任者 (当該校の専任教職員または部活動指導員) が引率し、引率責任者は選手の行動に対しすべての責任を負うこと。

14 新型コロナウイルス感染予防対策について

- (1) 大会の会場内では、プレー時以外はマスクの着用をして下さい。
- (2) 大会の会場は無観客とし、選手と監督・顧問・役員・補助員等以外は入場をお断りさせていただきます。そのため、会場に入場する選手・監督・顧問は、入場許可証を首からさげて下さい。つけていない場合は入場出来ません。また、大会参加者は試合の1時間前または割り当てられた練習時間の30分前を目安に会場に入場し、試合が終了した者は速やかに会場を出て下さい。
※保護者には各チームの責任で入場できないことを知らせておいて下さい。
- (3) 会場入場時は、検温と手指消毒を行います。37.5℃以上ある場合は入場できません。
- (4) 参加者には各日も学校単位で体調確認票を持参してもらい、それを選手受付とします。提出しない場合は入場をお断りさせていただきます。体調確認票は大阪高体連卓球専門部のホームページからダウンロードして下さい。
- (5) 開会式は男女ダブルス参加者のみで行います。それ以外の参加者はプログラムの注意事項を確認しておいてください。
- (6) 大会会場は入口を開放し、随時換気を行います。
- (7) トイレ・洗面所には液体石けんを置き、選手に手洗いを喚起します。
- (8) 観客席に座る際には座席1つ空けて座って下さい。観客席・ベンチコーチ用いすは受付時にお渡しした消毒用品で拭いて下さい。
- (9) 昼食時には向き合ったり、話をしながら食べないで下さい。
- (10) 更衣室を使用する場合、短時間で使用してください。
- (11) 競技運営について
 - ・ 競技場内の台と台の間隔を4 m以上空けます。
 - ・ 体育館フロア入口に手指消毒液がありますので、入退場する際に手指を消毒して下さい。
 - ・ 試合の際は声をできるだけ出さないで下さい。学校対抗など応援は拍手のみとします。
 - ・ ラケット交換はお互いに見せ合うだけにします。
 - ・ チェンジエンドは行いません
 - ・ ダブルスを行う際は、試合中のペアとの会話を極力避けサインのみとして下さい。
 - ・ 使用するボールは1試合ごとに消毒して使用します。
 - ・ 試合前後に握手やハイタッチ等はしないでください。
 - ・ タオルは備え付けのかごに入れてください。その際、かごの中にペーパータオルを敷いてその上にタオルを入れて下さい。
 - ・ コートや床に落ちた汗はペーパータオルで拭き取って下さい。

個人情報及び肖像権に関する取り扱いについて

1 参加申込書に記載された個人情報の取り扱い

- (1) 大会プログラムに掲載されます。
- (2) 競技会場内でアナウンス等により紹介することがあります。
- (3) 競技会場内外の掲示板等に掲載することがあります。

2 競技結果（記録）等の取り扱い

- (1) 競技会場内でアナウンス等により紹介することがあります。
- (2) 競技会場内外の掲示板等に掲載することがあります。
- (3) 本大会が認めた報道機関等により、新聞・雑誌・放送及び関連ホームページ等で公開されることがあります。
- (4) 高体連卓球専門部が作成する「大会報告書」に記載し、ランキング表や本専門部が発刊する「年報」等の記録集に掲載します。
- (5) 優勝及び上位入賞結果（記録）等は、次年度以降の大会プログラムに掲載することがあります。

3 肖像権に関する取り扱い

- (1) 本大会が認めた報道機関等が撮影した写真が、新聞・雑誌・大会報告書・記録集及び関連ホームページ等で公開されることがあります。
- (2) 本大会が認めた報道機関等が撮影した映像が、中継または録画放映されることがあります。また、DVD等に編集され、配布されることがあります。
- (3) 本大会が認めた報道機関等から、事前に本人または監督に承諾を得て、個人またはチームに対し、撮影や取材を受けることがあります。
- (4) 本大会が認めた業者により、記念写真等が関係者に販売されることがあります。
- (5) シングルス・ダブルス・学校対抗の決勝戦は録画され、近畿高体連HPで配信されます。

4 高体連卓球専門部としての対応について

- (1) 取得した個人情報を上記の目的以外に使用することはありません。
- (2) 参加申込書の提出により、上記取り扱いに関する承諾を得たものとして対応します。ただし、生徒・保護者から学校長に対し、個人情報の公表に同意されない申し出がある場合は、その意志を尊重して対応します。